

# 第2回定例会

町長より行政報告がなされました。

・町長行政報告

## 町長行政報告 (要旨)

### □農作物の生育状況について

今年の春は、4月下旬から5月中旬の過去に例を見ない天候不順により、蒔き付け・移植作業等が遅れ異例の事態となり、ビート移植作業では町職員・農協職員延138人が援農を実施し、目標の468ヘクタールの作付けを終了する事ができました。

また、牧草においては、低温の影響で収量への減少が心配されることでもあります。

### □牧野の入牧状況について

今年は牧草の生育が遅かったことから、昨年より10日遅れの5月30日・6月1日に、6力所の牧野に630頭が預託されました。

### □漁業について

外海ホタテ稚貝は、天候にも恵まれ5月18日から25日までに7999万5000粒、マス稚魚は4月30日に100万尾、サケ稚魚は5月29日に200万尾の放流を終了しました。

外海ホタテ漁業は、6月3日から12トン体制で本操業を開始していますが、歩留まりもよく今後の水揚げに期待しているところです。

### □公共事業の執行状況について

本年度町が計画しております主な工事と委託件数は、53件で6億4300万円を予定しております。



外壁改修工事中の役場庁舎

現在、各町道・公共施設等での改修工事が着工しておりますので、町民の皆様には何かとご不便をおかけいたしますが、ご協力の程をお願い致します。

### □町営スキー場人身事故の経過報告について

平成23年1月24日、佐呂間町営スキー場において利用者者と従業員運転のスノーモービルが衝突し、利用者が負傷した人身事故のその後、負傷者は、リハビリ・通院を続けて2年以上が経過し、日常生活については問題がないという事で、本人から今回をもって治療を終わらせたいと申し出がありました。

これを受け、今後は示談交渉を行い、整い次第補償額を次期定例会において提案したいと考えております。

### □佐呂間高校存続対策協議会の開催について

6月4日、平成26年度道教委の高校配置計画案が公表され、佐呂間高校の平成26年度から28年度の募集が1間口と示されたところであります

が、来春の町内の中学卒業生

は43名で、佐呂間高校進学者が例年平均7割程度であることから、1間口が確保できれば進路希望に支障はないと判断しています。



存続のため特色づくりが重要となる高校

なお、これに先立ち町内の関係者で組織している佐呂間高校存続対策協議会を開催し、佐呂間高校の特色ある教育活動を進めると同時に高校生への給食提供など、今後の佐呂間高校の存続対策について意見交換しております。

将来的にも1間口は守ること、また今後も新たな情報があり次第この会議を開催することと致しております。